



芽室町コミュニティ・スクール（CS）通信

～みんなで創り みんなでつなぐ ずっと輝くまち めむろ～

令和元年 9月27日 No.11

かなえよう

発行 めむろ郷育・夢育応援団事務局（芽室町教育委員会）

1 「郷育・夢育」をキーワードにしたCS実践例紹介（前期又は昨年度分）



①芽室小学校～2年：生活科「町たんけん」

将来の夢につながるよう、児童の興味関心をもとに、交番、JA、公民館、商店街などを見学し、インタビューしたことをもとに絵や作文に書き、発表会を行った。学校や子供たちと地域社会とのつながりが広がっている。



②上美生小学校～全校：生活・総合「身近な食と農を学ぶ農園活動」（食農教育）

JA青年部上美生支部の全面的な協力を得て、播種から収穫、調理までの農園活動を行い、農業の大切さを実感するとともに、子供たちのコミュニティの広がりにもつながった。



③芽室西小学校～4・5・6年体育：「合同体力測定」

本町と包括的な連携協定を締結している北海道十勝スカイアースの選手をはじめ、芽室西中学校の教諭、大谷短期大学の准教授等の支援を受け、児童の意欲の高まりを感じるとともに、楽しく効果的な体力測定となった。



④芽室南小学校～4年：総合「芽室の夏を満喫！」（食農教育）

JA青年部新生支部との交流学习により、「収穫したての作物を食べる」という何とも贅沢で、芽室の味を満喫することができた。子供たちは、身近すぎて実感がなく生活しているかもしれないので、その価値を理解するよい機会となった。



⑤芽室中学校～全校：道徳「夢講和」

子どもとメディア北海道の講師を招聘し、電子メディアが脳や体、学習に及ぼす影響やインターネットが絡んだ事件事例をもとに、主体的に考え行動する態度を学ぶことができた。「芽室町の子供は、芽室町民が守る」を合言葉に連携を！



⑥上美生中学校～2年：総合「マナー講座」

元国際線キャビンアテンダントを招聘し、高い職業意識や相手に伝わるマナー、姿勢、身のこなし方などを学ぶとともに、未知の価値観に目を開く授業になった。今後の自分づくりや進路実現への意欲も高めることができた。



⑦芽室西中学校～1年・国語「書写ボランティアの活用」

2学期から、本校で初めて教科担任のサポートをする書写ボランティアを活用した授業を行っている。ボランティアの優しく丁寧な指導により、良い雰囲気の中で生徒は笑顔で意欲的に書写に取り組んでいた。

<言葉のビタミンプラ>

「できるだけ多くの人に、できるだけ多くの幸福を与えるように行動するのが、我々の義務である。」by 渋沢 栄一

「私たちのやり方は、ハンターよりファーマーです。狩ったら終わりじゃなく、ファーマーはすぐに商売に結び付かないところにも地道に種をまいて育てる。」by 坂根 正弘